

## 社会のなかの文学

広岡 守穂 編著

2021年1月31日発行

中央大学出版部 発行

本体価格 4,900円(税別)

緒言		
第Ⅰ部 文学と社会		
第1章	文学が映し出す大衆の政治観	広岡 守穂
第2章	『換葉篇』の「不敬」事件 —徳田秋聲「出獄」、小栗風葉「宇宙の目的」、泉鏡花「葉草取」から 見る明治30年代における「文学」のパラダイムシフト—	大木 志門
第3章	日本近代文学におけるメディアの勢力—文壇・円本・無名作家—	永渕 朋枝
第4章	児童書統制と戦時下の児童書出版の実態	如月かずさ
第Ⅱ部 世界に広がる日本語の世界		
第5章	世界文学としての日本語詩—崔龍源、ぱくきょんみ、丁章の詩を中心に—	大田 美和
第6章	中国のネット小説とその中の「日本」	李 雁 南
第7章	西田季子『歌集やまばと』をめぐる旅 —ブラジル移民における「百万石のふるさと」—	杉山 欣也
第Ⅲ部 主題の熟成		
第8章	アイヌ民族における同化と民族主義—武田泰淳『森と湖のまつり』—	水溜 真由美
第9章	小田実『玉砕』の射程—“玉砕の思想”と他者の問題—	神子島 健
第10章	松本時代の木下尚江	鄭 玆 汀
第11章	福永武彦『風土』の「時空間」	岡本 正明
第12章	田中智学の日本国体の論説と宮沢賢治に対する影響	周 異 夫
第Ⅳ部 文学が社会を変える		
第13章	ユン・ヒョンソクの「良い日」は韓国に訪れたか —韓国の同性愛、同性婚をめぐる状況—	力丸 祥子
第14章	中国のエミリー・ディキンソン？余秀華について —野草の声を、堂々と詩で輝かす—	李 欣 欣
第15章	フェミニズムと文学の普遍性 —『82年生まれ、キム・ジョン』の日本でのヒットから—	劉 銀 炅